

# 「よしかわ杜氏の郷」の株式譲渡、源建設と交渉へ

上越市は14日、(株)よしかわ杜氏の郷について、市が所有する全株式を有償譲渡する優先交渉先として、地元、吉川区原之町の株式会社・源建設を選定したことを明らかにしました。

市によると、7月11日から10月17日まで提案を募集したところ4者から応募があったとのこと。11月6日に外部の委員等により構成する「上越市株式会社よしかわ杜氏の郷の株式譲渡に係る優先交渉先選定委員会」を開催。応募者によるプレゼンテーション及び質疑応答により提案を評価し、候補者を選定しました。

譲渡対象株式は3041株。市は今後、株式の譲渡契約に向けて交渉を開始します。

私はこれまで6月定例議会の一般質問などで地元最優先で進めるべきだと訴えてきました。また、吉川区地域協議会も同趣旨の意見書を市長に提出してきました。今回の選定結果については歓迎です。

正式に契約が成立すれば、源建設がどういう経営をして

いく計画を出したか、地域づくりについてはどう考えているかをよく聞き、私が



できることは最大限応援していきたいと思います。

## 原発の3つの検証、中途半端ではダメ

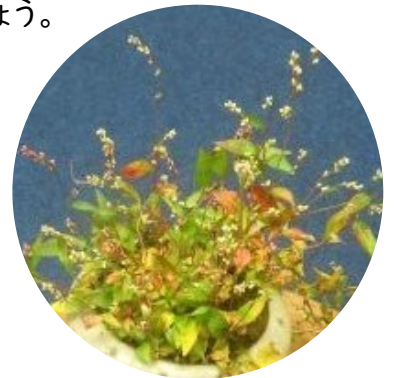


県は12日、原発事故に関する3つの検証の説明及び意見交換会を教育プラザで開催しました。

担当職員による報告、小委員会委員長のビデオによる挨拶(左のイラスト)の後、参加者からは、「避難委員会の報告書には結論部分を書いてない。委員会としての結論はどうなっているのか」「検証委に期待していたががっ

かりした。こういうことが必要だということを提言していない」などといった徹底検証を求める発言が相次ぎました。

検証を早く終わりにして、原発再稼働を急ぐことがないよう、しっかり監視していきましょう。

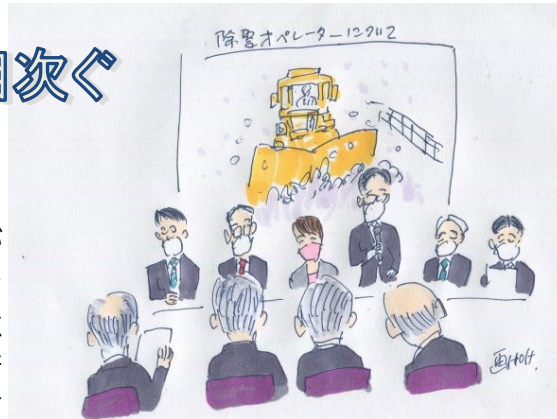


## 市民生活に関わる切実な要望相次ぐ

市議会主催の議会報告会・意見交換会が牧コンプラ、大島地区公民館など市内4会場で開催されました。

各会場では、議会側の報告の後、「消防団員の負担が年々大きくなってきている。退団したくても、退団できない。負担をかけないで維持していく仕組みを作ることはいかないか」(牧)、「市道の法面の草刈りや側溝の清掃など、維持管理を自主的に町内会で行っている。市道の管理をしっかりと市が行っていくべきだ」(牧)、「(株)よしかわ杜氏の郷がどうなるかは吉川でいま一番注目されている。区民が納得いくようにするのが行政の仕事だ。期待している」(吉川)、「各種除雪補助があるが、融雪に対する補助がない。金がかかりすぎて融雪をやめた人もいます。ぜひ支援してほしい」(大島)、「地域独自の予算はどこまで進んでいるのか全く見えてこない。地域ビジョンづくりがなければだめだ」(大島)、など市民生活にかかわる意見、要望が相次ぎました。

イラストは右上が吉川会場、右下は牧会場です。



【ヒメタデ】タデ科の多年草。漢字で「姫蓼」と書きます。先日、大湊区の作品展の盆栽部門でこのヒメタデが出されていました。とても素敵な盆栽になっていました。背丈は10センチから20センチと低く、鉢植えの園芸用としてはちょうどいいですね。花言葉は「あなたの役に立ちたい」です。写真は11月6日、大湊区の作品展で撮らせてもらいました。

はしづめ法一の  
活動レポート

**No.2086 2022.11.20**  
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のいかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第七三三回

### 花の絨毯

つい先だつてのことです。T子さん宅の玄関前まで車を乗り入れたとき、すぐに私の目に飛び込んできたのは金平糖を思わせる小さな花たちでした。

前回はお盆頃にお邪魔したかと思えます。これらの花については、その時のことは私の記憶にはありません。あるのは、コンクリートだけです。それがいつの間にか、金平糖の花でいっぱいになり、ツルについている葉っぱも紅葉していて、まさに花の絨毯(じゅうたん)になっていたので、車から降りた途端、「おお、素晴らしい」と声を出しそうになりました。

「花の絨毯」は横幅が三呎以上、縦は約一呎、高さは五呎くらいになっていました。ピンクと白の花が入り乱れ、構わないでおけば、さらに五呎、一〇呎と広がりそうな勢いがありました。

花の正式名称はヒメツルソバ。タデ科のツル性の植物で、原産地はヒマラヤだとい

います。あまりにもきれいなので、T子さんにこのヒメツルソバについて訊(き)いたところ、花は昨年、柿崎区の平場の集落に住むY子さんからもらったとのことでした。

Y子さんがT子さん宅に弔問に行かれたのは、昨今の今頃です。建築の仕事をしてきたT子さんのお連れ合いに住宅を建てた時、大変お世話になったとのことでした。ただ、その時はT子さんのお連れ合いが亡くなってからすでに半年以上となっていて、お返しする品がなかったとか。それで、T子さんは後日、Y子さん宅へお礼の品を持って行かれたのでした。

その時だったのですね、Y子さんからヒメツルソバを分けてもらったのは……。その後、T子さんはもらった花を丸いプランターに植え、育ててきました。プランターからツルが伸びたのでしょうか、それとも春に咲いた花の種が落ちたのでしょうか、

舗装のちよつとした隙間にも根を下ろし、横へ横へと、どんどん増えていったのです。ヒメツルソバは繁殖力が旺盛ですね。

この日、私は柿崎に用事があったので、県道柿崎牧線からY子さんの住む家へと車を走らせました。T子さんに分けたというヒメツルソバの花の様子を見てみたかったです。

あいにく、Y子さんはお留守でしたが、花を見せてもらいました。Y子さんのお庭でもピンクや白の花が美しく、それこそ最高級の「絨毯」となっていました。

留守に見せてもらったにしても黙っていいは悪い、そう思って、午後になってY子さん宅に電話を入れました。Y子さんは一度もお会いしたことのない人ですが、ヒメツルソバをめぐると一連の出来事について、つぶさに語ってくださいました。

Y子さんによると、ヒメツルソバを最初に分けてくれた人は旧下黒川中学校の同級生で、吉川区の旭地区に嫁いだS子さんだということでした。また、T子さんのところで働いていた吉川区泉谷地区のKさんとは親戚筋であること、現在、吉川区に近い工場アルバイトをしていることなども明らかにしてくださいました。

S子さんもKさんも私とつながりがあり、お世話になった人です。思わず、「世間は狭いですね」と言いました。Y子さんは、思っていた以上に気さくな方でした。私も花好きですので、すぐに意気投合しました。今度、一緒にS子さんが現在、住んでいる清里へ行きましょうということになりました。

ヒメツルソバの花言葉は、「思いがけない出会い」です。ヒメツルソバはツル性の植物で、横にどんどんつながり、広がっていく生き物です。Y子さんの話を聴きながら、人の人生もまた、横につながっているし、つながっていくと思えました。

## 桃園町内会、今年も小さな作品展

柿崎区桃園町内会は今年も小さな作品展を開催しました。

作品展は竹細工、水彩画、絵手紙、写真、貼り絵、盆栽など実に盛りだくさんでした。町内会に、多くの愛好者がおられるんですね。素敵な作品が多く、びっくりでした。

会場となった体育館は大勢の人でにぎわっていました。なかには

家族連れの人たちもあり、作品をみんなで楽しんでいました。出展した一人の女性は、「作品展に出すことで上達します」と言っておられました。

絵手紙の中の1枚に「嬉しいことをさがす毎日」というタイトルの付いたものがありました。私もこういう姿勢で毎日を過ごしたいと思いました。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月9日(水)	11月16日(水)
上越南消防署	0.050	0.053
上越北消防署	0.040	0.050
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.050	0.040
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.043	0.040
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.047	0.050